**第９９回観察会　2011年６月23日(木) 12:05～13:55 晴れ**

**テーマ『京大植物園TODAY ―発見を発信してみよう― 』**

**☆ガイドレポート**

これまで、2006年1月からずっと、特に2009年初めまではほぼ毎日、この1.2haの小さな植物園および周辺のイキモノをテーマに写真撮影による観察・記録を行い、その一部をブログ『[京大植物園TODAY](http://blog.goo.ne.jp/bgfanclub)』を媒体として、公開してきました。

今日（2011年6月23日）で開設1998日目、投稿記事数は2,511（1.3/日）、総アクセス数は372,551PV(113,347IP)に達します。大体、公開している写真の10倍から20倍の枚数を撮影してきましたので、手元のハードディスクに入っている写真は合計で5-6万枚以上になります。

そもそも、この「植物園TODAY」プロジェクトを始めるきっかけは、京大植物園を考える会の活動の中で、「京大植物園って、どこにあるの？」「どんな生き物がいるの？」という声に多く接したからでした。意外だったのは、特に学内の学生や教職員からそのような声が多く聞かれたことでした。植物園は良くも悪くも、知る人ぞ知る場所だったのです。

そこで、まず①その日その日の植物園の生き物や全体状況に関する情報を発信し、植物園の存在を知ってもらうこと、②正確な見回り調査はできないけれども、その日その日の動植物の動きを可能な限り記録することで、植物園に棲む生き物のフェノロジー記録として残すこと、そして、③植物園に関する資料やデータの整理、公開を行って、誰でも植物園に関心のある人が検索システムを使って知りたい情報を得られるようにすること、が目的でした。大げさかもしれませんが、①から③を一般公開条件下で行うことが、植物園とその周辺の環境について考える上で、「市民による環境監視」（故・中南元元大阪大学講師）の役割を自動的に果たすものと考えました。

毎日観察を継続すると、様々な「発見」があります。見えてくる生き物の生活（「芽生えから枯れるまで」の生活史の観察）、資料を蓄積したり、他地域と比較することで環境の変化がわかることもあります。今回の観察会では、そんな「発見」を発信することをテーマに植物園を歩きました。

過去5年間の6月の間に、「京大植物園TODAY」で取り上げた生き物たちのリスト（植物５１種、動物８種、菌類７種）を参加者の皆さんに配布し、鉛筆やデジカメを片手に、今年の状況を小グループに分かれて観察・記録していただきました。5～10回以上観察会に参加しているリピーターさんが全体の3分の１近くおられましたので、数人で組を作って頂けば、お互いの知っているイキモノに関する知識を重ね合わせて、十分に開花や結実などのフェノロジー（生物季節）のチェックを行うことが可能でした。

植物園観察会の場もこうなれば、ガイドは必要な時が来るまで、わき役です。ガイドが要らない観察会、それが観察会の一つの理想のあり方ではないでしょうか。そこまでいくのは難しくとも、権威づけられた専門家に教えられること、知のヒエラルキーを再生産するだけに終わらないような学びの場が、この小さな植物園のわくを越えて、もっと増えていってほしいと願っています。

案内人：大石高典さん（京都大学アフリカ地域研究資料センター・研究員）

**☆参加者の感想**

* 家の窓から見える京大植物園の樹木のことを知りたいと思って楽しみに参加させていただきましたが、もし終わりになるならさみしく思います。定家かづらの花、見られてよかったです。
（参加～５回、６１才以上、女性、京都市内のかた）
* よく近くを通っていましたが、これ程すばらしい場所があることを初めて知り、うれしくなりました。
（初めての参加、３１～６０才、男性、京都市内のかた）
* 説明有難うございました。今回初めて目にした植物もありました。
（初めての参加、６１才以上、女性、京都市外のかた）
* 育種育苗して販売することはしないのですか？最近大学ではビジネスにしています。特に珍しい種類や薬草を！
（初めての参加、６１才以上、男性、京都市外のかた）
* 近くにこのような場所があったことを初めて知りました。もう少し早い時期から参加できるとよかったと思います。ありがとうございました。
（初めての参加、出版会のかた）
* いつもブログを見せて頂いています。久し振りにふつうの植物園観察会に参加させてもらいました。もう少し、簡単に入園できればいいのになぁ?。
（参加～１０回、３１～６０才、京都市内のかた）
* ちょっと注意してみると植物はいろいろあっておもしろいです。黄色いトンボをはじめてみました。何？１００回以降もまたやってほしいです。最初のほうは出てないのでまたくり返してもいい気がします。でも若い人は自然のものにキョーミがないかもしれませんね。お世話係さんごくろうさまでした。
（参加１１回以上、３１～６０才、女性、京都市内のかた）
* 今日は多くの花などを見ることができて大変良かったです。係の方長い間ご苦労様でした。何とか今後も続けて欲しいものです。
（参加～１０回、６１才以上、京都市内のかた）
* 色々な角度で再発見があり楽しかったです。
（３１～６０才、男性、京都市内のかた）
* あー終ってしまうのか、・・・。“空地”とはひどい。ここが植物園でなくなってしまうなんて、考えたくないけれど、「エライ人」の考えることは時々悲しい。
（参加１１回以上、６１才以上、女性、京都近辺のかた）
* 半夏生の白、きれいでした。きぬがさたけ
（参加～１０回、６１才以上、女性、京大近辺のかた）
* 身近な植物を分りやすい解説で良かった。一般の人でも観察しやすく良かったと思う。もう一まわりする時間があれば良いと思う。
（参加～５回、３１～６０才のかた）
* なかなか見られないきのこをたくさん見れておもしろかった。学生がもっと参加してもいいのにと思った。
（初めての参加、１８～３０才、男性、理学部学部生のかた）
* 毎回楽しみにしていたのに残念です。
（参加１１回以上、６１才以上、女性、京大近辺のかた）
* あまり苔むした環境を歩くことがなかったので新鮮だった。京大構内にこのような環境があることも知らなかったので驚いた。
（初めての参加、１８～３０才、男性、京大アフリカ専攻院生のかた）